

環境リーダーを育成

グリーン経営認証で研修会

環境に配慮した運輸事業者の第三者認証制度「グリーン経営認証」を運営する公益財団法人交通エコロジ・モビリティ財団（東京都千代田区）はこのほど、名古屋市中区の大ダイアパークで「グリーン経営認証リーダー研修会」を開催した。認証制度の現状報告と現場リーダーらのレベル向上が目的。認証事業者ら約180人が参加した。同認証は、トラックやタクシーなどの運輸

事業者が環境保全を推進するのを目的とした制度。認証事業所数は全国で7393にのぼる（1月末現在）。

研修会では、加藤信次交通環境対策部長が現状を説明。認証制度取得による金融機関などからの優遇制度、助成制度が浸透していることや、認証取得後の環境改善の具体的な効果を紹介。「制度開始から11年目をむかえ、さらなる制度普及に努めていく」と述べた。

また、山田英夫調査役がエコドライブ、谷口安男担当課長が環境に係る法規制についてそれぞれ説明した。さらに、認証企業のコイト運輸（本社静岡県）と愛知海運（本社名古屋市）が取り組み事例を発表した。

グリーン経営認証制度の現状などについて説明する加藤部長

